

PDF オートコンバータ EX インストールマニュアル

2006年11月21日
株式会社ワイ・エス・エス
E-mail : eigy@iothe.co.jp
TEL : 044-211-9332

1. インストールに必要な環境につきまして

1.1. 推奨ハードウェア環境

メモリ：

512MB 以上

CPU：

Pentium 1.5GHz 以上

1.2. S/W 環境

OS：

Windows 2000 Server または Windows 2003 Server Standard Edition

Windows2000Pro または XP

Office2002、2003 SP3 以上

その他変換するアプリケーションの正式バージョンが必要です。

2. インストール前に必ず設定・確認をしてください。

PDF コンバータを必ずインストールしてください。

PDF コンバータのインストールの仕方は PDF コンバータインストールマニュアルを参照ください。(PDF オートコンバータ EX には PDF コンバータ / 1 ライセンスが含まれています。)

OS と Office の最新のパッチをインストールしてください。

必ずインストールするマシン自体に Admin 権限のあるユーザーでログインしてください。

ネットワークの Admin 権限があっても、そのマシン自体に Admin 権限がないことも考えられます。ご注意ください。

以下の環境では正常に動作しませんので、ご注意ください。

- ・ リモートデスクトップ、シンクライアント製品 (Metaframe) 等のインストールされている環境
- ・ ハイパースレッティングが設定されているマシン

以下の環境では、不安定となる場合があります。必ず事前に検証または、対応策をお考えください。

- ・ Windows2003 Server 以外での 2 CPU 以上のマシン。
- ・ Web サーバ、DB サーバ上で動作させる場合。特に変換頻度が高い場合はご注意ください。相互に影響が出た場合でも、当社では対応が困難です。ご心配の場合は必ず変換専用マシンをご用意ください。

注意事項

- ・ アプリケーションからの PDF 変換はマルチスレッドでは動作しません。
- ・ 一太郎はバージョンによってはサーバにインストールできません。また、IME と A T O K が悪影響を及ぼす場合もありますので、必ず一太郎専用でお願いします。
- ・ ウイルスソフトによっては、変換時にファイルを掴むものがあり、変換用フォルダをウイルスチェックから外していただく必要があるケースもあります。
- ・ Windows のアプリケーションは、少しずつごみのようなものができてメモリを使用していきます。推奨は 1 日一回、最低でも 1 週間に 1 回はマシンの再起動をお勧めします。
- ・ コマンド変換では A d m i n 権限が必要です。またコマンド変換とサービス変換は同時に動作しません。
- ・ PDF 変換処理を行うファイル、フォルダにつきましては、必ず PDF オートコンバータ EX がインストールされているローカルサーバ内のものをご指定願います。
ネットワーク越しのファイル、フォルダの処理は動作の安定性を考慮し、サポート外とさせていただきます。

3. インストール手順

3.1. PDF コンバータのインストール

(一緒に入っている PDF コンバータのインストールが必要です。)

PDF コンバータのインストールマニュアルをご確認の上、インストールをしてください。

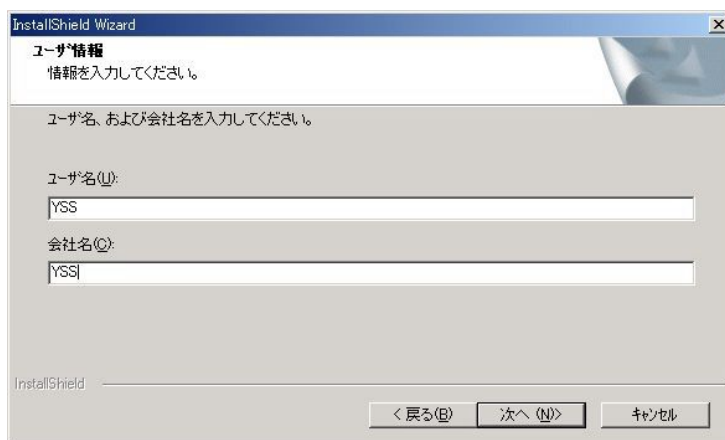
3.2. PDF オートコンバータのインストール

(1). yautoex10.exe をダブルクリックしてください。



上記の画面が表示されますので、「次へ」を押してください。

(2). 下記の画面が表示されますので、「ユーザー名」、「会社名」を入力して「次へ」を押してください。



- (3). PDF オートコンバータ EX をインストールする場所を指定してください。変更する場合は「参照」を、変更しない場合は「次へ」を押してください。



フォルダを変更する場合

参照を押した場合、以下のような画面になります。

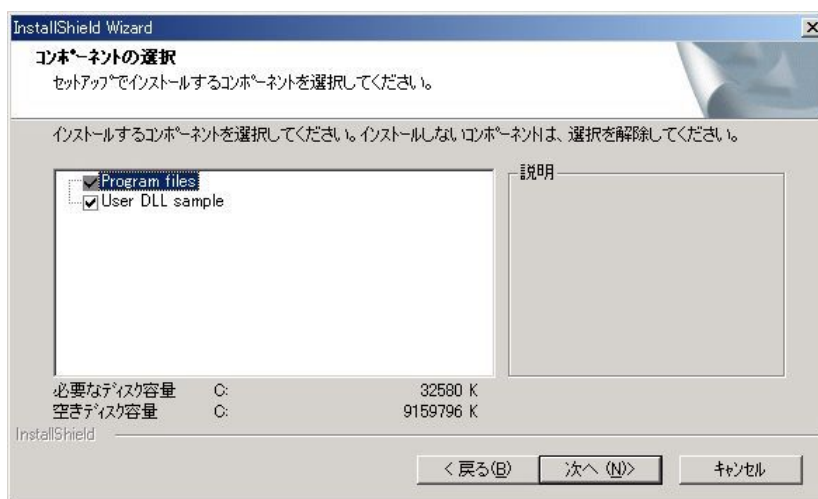


ここでインストール先を指定してください。

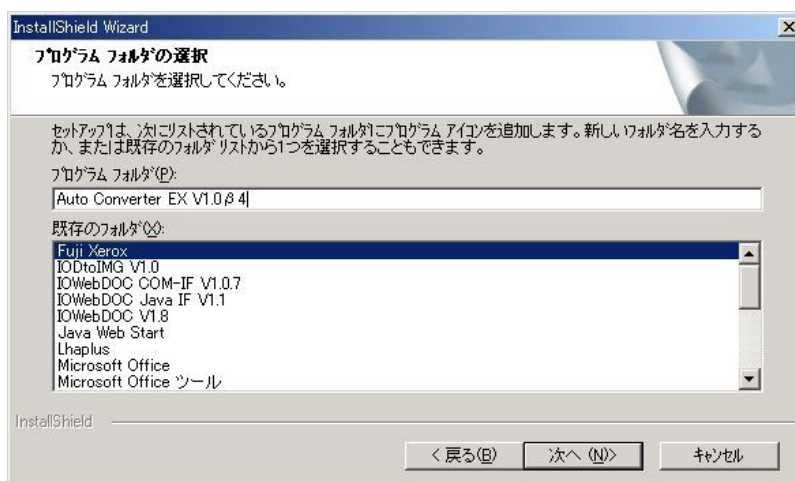
「OK」で押すと以下のような画面になります。



「次へ」を押してください。



インストールするコンポーネントを選択してください。
 一般にはそのまま「次へ」を選んでください。

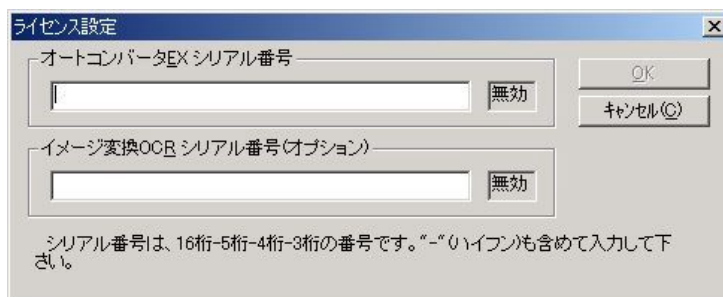


上記画面の「次へ」を押してください。



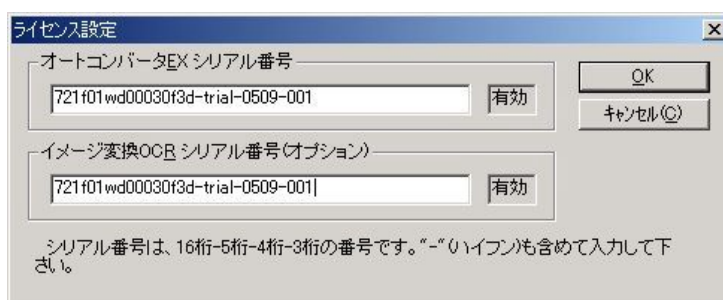
上記画面の次へを押してください。

ライセンス入力



PDF オートコンバータ EX のシリアル番号

(EX を使用して OCR を使用しない場合、これだけにライセンスを入れてください。)



上記のようにシリアル番号を入れると動作します。

EXCEL オプションの設定につきまして

この機能は以下のような EXCEL の特性に対応するために作成されました。

<現象>

Excel シート印刷(変換)時に、1 シートが複数ページにまたがるものに対して、意図と違う形で複数ページ に出力される

<原因・経過>

アプリケーション作成時に定義した解像度とプリンタドライバの解像度の関係にておこる現象です。Word/Excel などでは、書式定義にて解像度の設定があり、PDF オートコンバータでは、定義された解像度が基本的に設定され、出力される。

各社のプリンタごとに紙に出力できる範囲は若干異なります。このため、プリンタドライバ毎に余白等を考慮した印刷可能範囲が異なります。シートの出力内容などにおいては、同じ解像度でも出力できる範囲が若干ことなる場合があります。

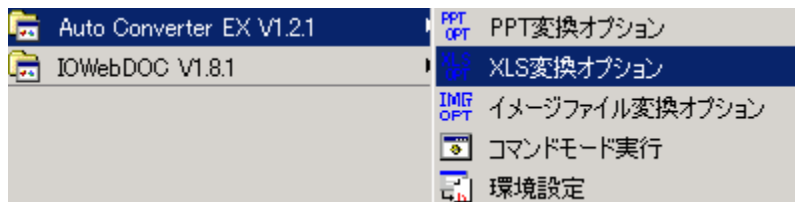
特に Excel においては、初回ファイル作成者のデフォルトのプリンタ情報にて構成が設定されますので、別環境での印刷時に意図したものと出力形態が違う場合があります。

それをできるだけ減らすために、解像度を変更する機能を付けましたが、問題となるファイルは正常に出力されるとしても、他のファイルにおいて同等の現象が起こる可能性があります。基本的に、PDF オートコンバータでは、PDF コンバータを通常使用するプリンタに設定し、アプリケーションにてプレビュー表示されたものを PDF 出力するようにしておりますが、PDF の出力傾向をご確認ください。

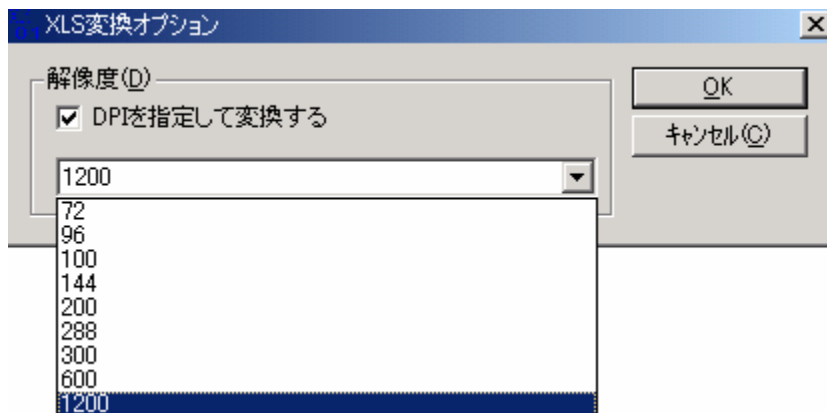
<対策>

- ・ 変換対象ファイル作成時の確認をお願いいたします。(書式ギリギリのオブジェクトはなるべく避ける等)
- ・ PDF オートコンバータ EX の解像度設定において、どの解像度が御社に一番あっているか確認ください。

以下では、PDF オートコンバータ EX での設定方法をご説明致します。



プログラム→AutoConvertertEX V1.XX→XLS 変換オプションを選択してください。



デフォルトは 1200 です。最近のお客様からのファイルの傾向から、600 に設定したほうが良いケースが多いようです。

PDF オートコンバータ EX の Java インターフェースインストールにつきまして

PDF オートコンバータ EX をインストールすると、Java インターフェースも同時にインストールされます。インストール作業は必要ありませんが、以下の環境設定が必要です。

環境変数

スタンドアロン型の場合はApplication Runtimeの動作する環境に、ネットワーク分散型で運用している場合はStorage Serviceの動作する環境に設定して下さい。

以下の表に従い、環境変数を設定して下さい。

PATH	PDFオートコンバータEXをインストールしたディレクトリ直下のbinフォルダを追加
CLASSPATH	PDFオートコンバータEXをインストールしたディレクトリ直下のjavaフォルダを追加

環境変数は、システム環境変数(SYSTEMユーザ権限の環境変数)に追加設定して下さい。ユーザ環境変数(特定のログインユーザ権限の環境変数)に対して設定してもintra-martサーバ実行環境に対して設定が有効にならない場合があります。

環境変数の設定は、Windowsの環境変数設定画面で行います。[システムのプロパティ]ダイアログを開いて、設定をして下さい。